



医療法人弘遠会 すずかけグループ

天竜すずかけ病院

広報誌

すずちゃん通信

創刊号 秋号

発行日
平成29年 10月 1日

記念すべき創刊号となります！ (年4回発行)



目次

Page 1 表紙

Page 2 院長よりご挨拶
～「すずちゃん通信」
創刊号に寄せて～

Page 3

部署紹介「2階病棟」
薬剤科より
イベント関係

Page 4

外来診療医担当医表
インフォメーション
秋号の一句
編集後記

「すずちゃん通信」創刊号に寄せて

天竜すずかけ病院 病院長
荒井元美

天竜すずかけ病院は平成6年12月に開設されました。全身麻酔による手術を行っていた時期もありましたが、次第に療養型病棟が主体になりました。認知症の患者さんの診療には20年ほど前から取り組んでおり、ケアについての検討内容が看護専門誌に連載されました（注1）。

また、平成27年10月には回復期リハビリテーション病棟を開設しましたが、やはり他の病院から紹介されて入院する患者さんが大部分です。この地域にお住まい方にとって、天竜すずかけ病院といえば療養型病棟のイメージが強く、身近な病院とは感じられなかったかも知れません。

皆様に是非知っていただきたいのは、天竜すずかけ病院は患者さんの診療を行っているだけではないということです。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくためには、病気にかかりにくくすること、病気になっても障害とうまく付き合っていくこと、孤立あるいは閉じこもらないよう地域社会との関わりを保つことなどが大切ですが、そのための取り組みも行ってきました。

こうした活動を皆様に知っていただくために「すずちゃん通信」を創刊し、年に4回発行することにしました。

この創刊号では、いままで行ってきた取り組みの一部を紹介します。

平成12年から介護保険に関連したデイケア事業を行っています。これは病院内の訓練室まで来ていただいて、資格を持った療法士が訓練を行う「通所リハビリテーション」が主体ですが、食事や一部の方には入浴サービスも行っています。安心してご利用して頂けるよう、万一体調が悪くなった場合には速やかな対応ができるよう体制を整えました。

かかりつけの先生のところまで歩いて通える人は、天竜区では幸運な少数派かも知れません。往診にも限度があるので、訪問看護ステーションはこの地域での在宅医療には欠かせない存在です。看護師が訪問して血圧や体温、脈拍の測定や病状の確認、医師の指示による医療行為や医療機器の管理、床ずれの処置や予防、身体の清拭や洗髪など清潔のケア、食事や排せつのケア、認知症のケアなどを行います。理学療法士と作業療法士が所属していて、訪問リハビリテーションも行っています。訪問看護ステーション天竜の活動は20年を超え、山間地での認知症ケアについて平成24年度浜松市医療奨励賞を受賞しました（注2）。

介護や福祉サービスの拡充が進められていますが、仕組みが複雑で、どのようなサービスを利用できるのかわかりにくくなっています。地域包括支援センターではこうした相談に乗るだけでなく、高齢者の生活を地域の中でさまざまな形で支えてくださる方々のネットワークを作る仕事をしています。

なお、介護保険サービスに関する業務は居宅介護支援事業所が担当しています。違いがわかりにくいですが、心配は要りません。

窓口で用件を話していただければ、職員が最適な部署に案内してくれるはずです。

こうした取り組みが皆様の生活のお役に立てることを願っております。

注1) 犬塚久美子、水野紀美子、榛葉由枝、山本美知子ほか。事例を通して考える認知症ケア－個別性を尊重した周辺症状への対応（すずかけ方式）－。看護実践の科学。2010年1月号～12月号。

注2) 受賞論文名：中山間地に居住する認知症患者の実態と医療～医師と訪問看護ステーションの連携活動からみえてきたこと～



荒井元美（あらい もとみ）

専門分野：神経内科
資格等：日本神経学会認定医
日本神経学会指導医
日本内科学会認定内科医

平成29年2月 天竜すずかけ病院
院長に就任

部署紹介 看護部〔2階病棟〕



私たちの病棟は、慢性期疾患の患者様が入院しています。そのなかで、患者様だけではなくご家族のニーズも受け止め、思いやりを持ち、優しい「看護・介護」ができるように心がけています。私たちは、患者様の入院生活の中で、毎日のレクリエーションや、季節にあった行事を通じての活動を提供しながら、患者さんの笑顔と「楽しい・ありがとう」の言葉をやりがいに感じ、その言葉や表情で私たちはがんばろうという気持ちになります。重い病気の患者様が増えたことで、専門性も問われてきます。安心して入院生活が送れるよう、質の高い「看護・介護」を目指して、職員一人一人が日々努力しています。女性スタッフがほとんどですが、男性スタッフも多く在籍しています。活気とやる気があり、意見が言い合えるスタッフが揃ったチームワークのよい病棟で、老若男女が楽しく働いています。

薬剤科より

例年、寒い季節になりますとインフルエンザのニュースが新聞、テレビ等で取り上げられます。インフルエンザの典型的な症状は突然の高熱、倦怠感、関節痛、鼻閉・鼻汁や咳などです。インフルエンザは周囲に感染を広げやすいので、家庭や学校、職場などで急速に感染が広がってしまうことがあります。インフルエンザを発症する人の多くは、15歳以下の子供ですが、インフルエンザによる死亡者の多くは高齢者です。インフルエンザを予防するには「栄養と休養を十分にとる」「人混みを避ける」「マスクを着用する」「手洗いとうがい」など日ごろから体調を整え抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、流行前にインフルエンザワクチンを接種することも大切です。インフルエンザワクチンには100%の発症を抑えることはできませんが、発症をある程度抑える効果や重症化を抑える効果があるといわれています。インフルエンザワクチンは接種後、効果が現れるまで2週間ほどかかりますので、流行が始まる前に接種をお勧めします。13歳未満の小児の場合は2～4週間の間隔（免疫効果を考慮すると4週間）をおいて2回接種となります。ワクチンの効果は接種した人の条件にもよりますが、約半年と言われています。日本では12月～翌年4月にかけて流行することが多いので、遅くとも12月中旬までには接種しておくことが勧められます。



イベント

（話題が季節はずれではありますが…）

8/5(土) 鹿島の花火大会が開催されました！

病院対岸より撮影



病院屋上より撮影



〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣
2396-56

電話：053 (925) 8111(代)
FAX：053 (925) 8112

電子メール
tenryu@suzukake.or.jp

ホームページ
<http://suzukake.or.jp/tenryu/>



あなたの笑顔が
わたしたちの喜び

外来診療医担当医表

総合診療科・**神経内科** (※青字は神経内科)

	月	火	水	木	金
医師名	一戸宏哉	竹下 力	荒井元美	(1.3.5週) 鈴木芳太郎 (2.4週) 西川方夫	荒井元美
診療時間	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00 14:00-16:00 (午後(は2.4週のみ)	9:00-12:00
コメント	内科全般	漢方相談	難病の相談	(1.3.5週) 創傷処置 腰痛の相談 (2.4週) もの忘れ外来 〔予約制〕	難病の相談
担当医の専門	総合内科	総合内科	神経内科	外科 脳神経外科	神経内科

「受付時間 8:30-11:30、診療時間 9:00-12:00」となります

「祝日、GW、年末年始」はお休みとなります

インフォメーション

地域住民講演会が開催されます(二俣・山東地区、光明地区)

入場無料・事前申込不要

10/14(土) pm1:30より 二俣協働センター [二俣・山東地区]
『お薬の飲み方』 講師：浜松市薬剤師会
天竜あきは薬局 菅沼貴仁 先生

10/28(土) pm1:30より 光明ふれあいセンター [光明地区]
『お薬の飲み方』 講師：浜松市薬剤師会
天竜あきは薬局 菅沼貴仁 先生

両日とも「介護相談コーナー、福祉機器レンタル展示他」を行います

お問い合わせは「訪問看護ステーション天竜、高齢者相談センター天竜」まで

TEL 053-925-0031

TEL 053-925-0034

秋号の一句 <通所リハビリ利用者様の作品>

- ・ さよならと 頭をたれる ススキかな
- ・ 赤とんぼ ふる里の秋 なつかしく
- ・ 秋晴れに ひるねの犬も 大あくび



天竜すずかけ病院
イメージキャラクター

すずちゃん

編集後記

祝 創刊!! すずかけの理念『やさしさ』のもと、新たな天竜すずかけ病院の魅力をお伝えするために、すずちゃん通信を年4回発行することとなりました。地域のやさしい病院を目指し、頑張っています。今後のすずちゃん通信を楽しみにしてください。(僚)